



学校だより

令和4年11月30日

横浜市立洋光台第三小学校

12月号

校長 金澤 智美

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

「みんなかがやけ」ケヤパ発表会

校長 金澤 智美

校庭では金色のイチョウの葉が風に舞い、季節が秋から冬へと移り変わるなか、子どもたちは元気よく活動しています。

11月は、21日・28日の2日間にわたってケヤパ発表会を行いました。発表の内容は学年によって異なり、1学年は生活科、4～6学年は総合的な学習の時間、2・3学年は音楽の学習の発表が行われました。来校してくださる保護者の方々に伝えたいという相手意識や目的意識をもち準備に励んできたことは、子どもたちの大きな成長につながったと思います。

発表当日は、たくさんのお客様が温かいまなざしで見守ってくださる中、子どもたちは緊張を乗り越え、達成感を味わっていました。ご家庭でも発表会に向けて、きっと様々な励ましをいただいたことでしょう。満足そうに発表を終えた子どもたちの表情を見て、ご家庭への感謝の気持ちでいっぱいになりました。



今年度の成果の一つに、子どもたちが地域の方とつながる機会をたくさん得られたことがあります。その背景に、校内重点授業研究として、生活科・総合的な学習の時間の研究に教職員がチームで取り組んできたことがあると感じています。

「子どもたちがわくわくする学習と出会わせたい」。教職員は、コロナ禍のこの2年間には人とのかかわりが十分にもてなかったことを振り返り、そんな思いを共有しながら子どもたちに必要な学びについて話し合い、今年度の研究に臨んできました。学習を構想するにあたり、まちへ出かけ、まちの方々と出会い、つながりを紡ぎ、粘り強く教材研究に向き合っていました。決して容易なことではなかったと思います。そして、子どもたちがわくわくする様子を予感できたときに見せる教員の目の輝きに、学校教育目標「みんなかがやけ洋三の子」に一步近づける手ごたえを感じました。

次年度には50周年を迎えるということもお祝いとなり、6年生は、洋光台のまちや学校の歴史に目を向け、過去の出来事や当時の人たちとかかわり、自分たちの現在そして未来を考える学習ができました。今回のケヤパ発表会では、自分たちの思いを自作の歌や動画に仕立てて堂々と発表する姿がとても立派でした。そして、それをうれしそうに見つめる教員の思いも一緒に伝わってきました。

今年のカレンダーもいよいよ最後の1枚です。個人面談とともに、3・5年生の社会科見学や個別支援学級の遠足もあります。実り多い師走となることを願い、取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、今年も大変お世話になりました。少し早いですが、よいお年をお迎えください。